

地方小規模実学系大学と地元企業との協働による 初年次・キャリア・専門教育をとおした 課題解決型のキャリア教育プログラム



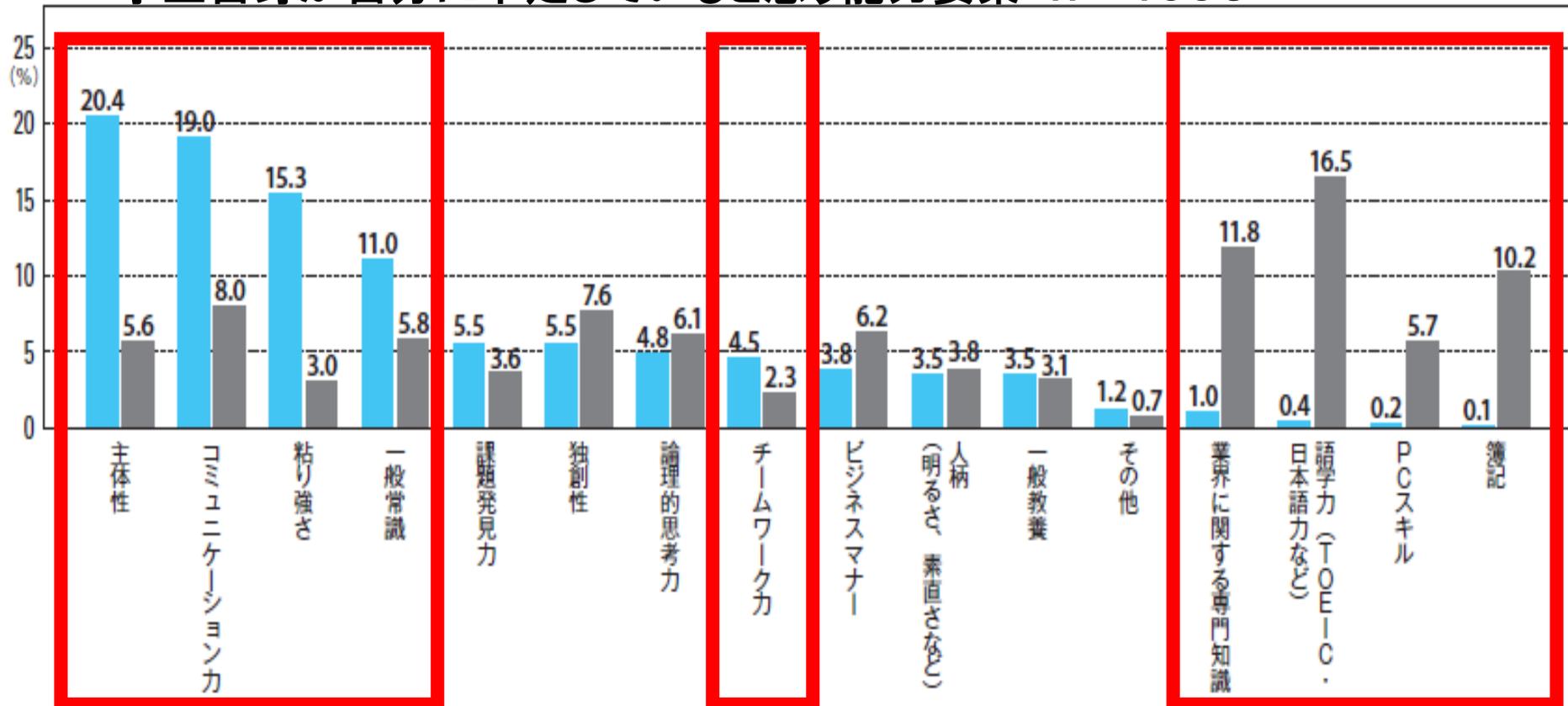
1. SOJOプロジェクト教育
2. 初年次教育科目「SOJO基礎」
3. 2年・3年次のキャリア系科目
4. 企業の評価とこれからの課題

企業が学生に不足していると思う能力要素 学生自身が自分に不足していると思う能力要素

企業が学生に不足していると思う能力要素 n=2958

学生自身が自分に不足していると思う能力要素 n=4095

■ 企業人事担当者 ■ 学生



大学生の「社会人観」の把握と「社会人基礎力」の認知度向上実証に関する調査 2010年 経済産業省

<https://selectra.jp/sites/selectra.jp/files/pdf/201006daigakuseinosyakajinkannohaakutoninntido.pdf>

大学の授業で

次の能力・スキルが養われる機会がありましたか

	全体	人文	法学	経済	理工	その他
問題を認識し、必要な情報を収集・分析・整理し、問題を解決する (問題解決力)	36.1	40.5	36.5	32.5	33.1	37.5
進んで新しい知識・能力を身につけようとする (継続的な学習力)	30.7	34.1	27.6	25.3	28.8	34.3
自らの考えで責任を持って自立的にものごとに取り組む (主体性)	31.9	35.6	31.8	26.8	25.8	36.6
チームの中で協力しながら自分の役割や責任を果たす (チームワーク力)	44.1	42.8	29.4	43.7	40.5	50.6
目標の実現に向けて計画をし、自らを律して行動できる (自己管理能力)	25.0	25.8	27.1	20.8	22.4	27.8
現状を分析し、問題点を明らかにし課題として設定する (課題設定力)	33.4	33.7	34.1	33.4	29.4	35.1
筋道を立てて論理的にものごとを考える (論理的思考力)	37.6	42.4	51.2	32.4	35.8	35.9

Benesse「社会で必要な能力と高校・大学時代の経験に関する調査」2010年 大学4年生 n=1,731)

『VIEW21』大学版 2011年度 特別号 Vol.1 https://berd.benesse.jp/up_images/magazine/021.pdf

これらをすべて満たす授業方法のひとつがPBL型授業

1

SOJOプロジェクト教育

カリキュラムレベルでのPBL型キャリア教育

初年次教育・キャリア教育・専門教育と
産業界との連携による大産接続キャリア教育

CAC (Careers Across the Curriculum) の必要性

授業科目レベル、学科レベル、大学レベルにおいて、
学士課程教育と職業との結びつきを意識してきたのか、
その意識を実行レベルに移そうとしているのか、移せたのか

再確認と実践

大学設置基準：平成23年4月1日改正

社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制

第四十二条の二

大学は、当該大学及び学部等の教育上の目的に応じ、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を、教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう、**大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整えるものとする。**

「SOJOプロジェクト教育」構想と展開案

高大接続教育＋大学基礎教育・専門教育＋大産接続教育 PBL型キャリア教育の組織的な展開

構想

- 現実的かつ具体的な問題に対して、解決すべき課題の発見、知識の獲得、討論をとおした思考の深化、実験・設計・試作等による問題解決能力等の育成
 - ・「課題発見能力」「問題解決能力」「論理的思考能力」「専門分野の実践力」など
- それらをツールとして実社会で活用できる人材の育成・輩出
 - ・卒業研究・修士研究としての学生プロジェクト活動の模索
- 修士・博士課程の研究と長期のコーオプ教育にもとづく産学連携の基盤醸成

展開案

- PBL型プログラムをカリキュラム上に設定
- 起点を初年次教育科目（高大接続と実社会への意識醸成）
- 基礎教育と専門教育との連続性
- 産業界との協働教育（大産接続教育）
- 学生プロジェクト活動、インターンシップの単位化

「SOJOプロジェクト教育」

大産（大学と産業界）接続教育への現実的な可能性

基礎教育課程

基礎的な専門知識を必要としないPBL

解のない問題へのアイデア的解決

- 能動的学びへの転換
- 解のない問題への挑戦

- ・「SOJO基礎ⅠⅡ」1年（必修）
（初年次教育＋キャリア教育＋課題解決）
- ・「キャリアプレコープ」2年（選択）
（ロジカルシンキング＋**企業提供課題の解決**）
- ・「キャリアセミナー」3年（選択）
（**企業提供課題の解決**＋就職ガイダンス）

例）受験生が見たがる大学HPの提案
大学の概要説明 → HP閲覧・他大学HPと比較
→ 疑問・問題点の洗い出し → チーム討議
→ 解決案 → 発表

例）・農業へのAI活用の提案
・特定の過疎地の再生の提案
・スマートフォンの新機能提案

専門教育課程

基礎的な専門知識を必要とするPBL

実験、演習、実習、ケーススタディ

■ 基礎的な専門知識・技能の定着

例）〇〇実験科目
実験目的説明 → 実験器具の説明 →
実験 → データ処理・活用 → レポート作成
★実験の応用課題を追加設定

解のない問題への

基礎的な専門知識・技能による解決

- より質の高いPBL型学修形態
- **企業提供課題の解決型プログラム**

例①) ●●の性能向上、▲▲アプリ、■ ■の新機能、新製品の企画、等の提案・設計
解決のための仮説 → 工程表 → 複数の解決案 → **(実験or設計or試作)** → 発表

例②) 卒業研究プログラム

2019年度以降のカリキュラム(イメージ)



- ①初年次教育を起点とするキャリア教育 ②基礎教育と専門教育との接続連携
③企業との協働教育 ④学生プロジェクト・インターンシップの単位化

「SOJOプロジェクト科目群」

緑色：基礎教育課程
黄色：専門教育課程

前期

後期

1年

SOJO基礎 I
必②

学科HP探求
・チーム学修とプレゼンテーションの基礎、学科帰属意識

SOJO基礎 II
必②

学科研究室調査
教員提供課題のアイデア的解決
・実社会の問題解決体験
・修学モチベーションの向上

2年

キャリア
プレコーオプ
選必②

企業等提供課題のアイデア的解決
・学科混合クラスによる多様な知識とスキルを活用して解決
・自身に不足する知識や技能等への気づき

SOJO
プロジェクト
必・選必・選②

企業提供課題の基礎的な専門知識による解決
・これまでに修得した基礎的な専門知識とスキルを活用して解決
・自身に不足する基礎的な専門知識やスキル等へのさらなる気づき

**CDIOイニシアチブ
へのスタート**

Conceive 考え出す
Design 設計する
Implement 実行、実装する
Operate 操作、運用する

3年

SOJO
プロジェクト
必・選必・選②

企業提供課題の基礎的な専門知識による解決
・さらに修得した基礎的な専門知識とスキルを活用して解決
・企業の課題解決の専門的な疑似体験

キャリアセミナー
選①

企業提供課題の解決
・チーム協働解決スキルの最終確認

キャリア
プロジェクト 選①

学生プロジェクト(履修条件:2年次終了までに1年間の継続的所属)
・対象プロジェクト:フォーミュラー、ロボット、エコ電カー からくり
・ものづくり:学生による企画、知識とスキルの伝承、一定の完成品としての成果

CDIOの体験

インターンシップ
I・II 選①

前期(4~9月)・後期(10~3月)、1週間以上のインターンシップ
・事前授業、活動報告書(日報)、成果報告レポート、プレゼンテーション

単
位
化

2

初年次教育科目「SOJO基礎」 「SOJOプロジェクト教育」のスタート科目

スタディスキルとチューデントスキルとを身につける初年次教育とキャリア教育とを再設計し、さらに上級学年との連続、および大学と産業界との接続を意識した「SOJOプロジェクト教育」のスタート科目として、「SOJO基礎」をカリキュラム上に明確に位置づけた。

2016年度後期から1年半の部分的試行、2018年度1年間の全面的試行を経て、2019年度から学科単位の1クラス30名程度で「SOJO基礎 I II」「SOJO基礎(薬学)」の運用を開始した。

本科目は、大学のユニバーサル化と地方の小規模実学系大学である本学の立ち位置を強く意識した、学生教育の「はじめの一步」である。

「SOJO基礎」の特徴

キャリア系コンテンツを重視

必修 1年前後期 工学部 情報学部 生物生命学部
選択必修 1年前期 薬学部

1. ライティング（主に課題として作成）

1) SOJOポートフォリオシステム（eポートフォリオ）

- 「入学時自己診断シート」（将来目標）
- 「今週の活動とトップニュース」（自己管理、自己評価、社会動静）
- 「科目の学修到達度レポート」（自己評価、全科目で作成）
- 「学期末活動報告書」（自己評価、次学期計画）

2) 時事ワークシート（朝日新聞社教育総合本部）

3) レポート：キャリア系テーマ（後掲）

2. チーム活動（PBL型）の重視

1) BS、KJ法

2) 問題設定、調査、情報整理、討議、発表、他チーム発表評価、 報告書（振り返りレポート：チーム・個人）

3) 学科HP改善、研究室調査、企業等提供課題解決（後掲）

- 仲間づくり、協働、所属・専門意識、キャリアデザイン

「SOJO基礎」での個人活動(レポート作成)

■前期 工学部、情報学部、生物生命学部のテーマ *「SOJO基礎Ⅰ」

- ①〇〇学科関係業界をめぐる諸問題とその解決法の提案
- ②最近の時事問題に対する解決法の提案
- ③アルバイト先の業務改善の提案
- ④崇城大学への提案:学修、課外プロジェクト、施設、その他

■後期 工学部、情報学部、生物生命学部のテーマ *「SOJO基礎Ⅱ」

「就職したと仮定した企業での私の役割」

現時点で、自身が就職を希望する具体的な企業を1社選定し、その企業に就職したと仮定して、以下の4項目について記述してください。公務員(国家・地方公務員、教職)の場合も具体的な事例、例えば熊本県庁、〇〇高等学校などとしてください。

- 1)企業の概要
- 2)その企業で何をしたいのか
- 3)そのためには何が必要なのか
- 4)その企業で働くことの意味とは何か

■前期 薬学科のテーマ *「SOJO基礎(薬学)」前期のみ開講

「これからの薬剤師(医療人)としての使命と役割の提案」

- ①AI時代の薬剤師の使命と役割(あり方)の提案
- ②パンデミックにおける薬剤師の使命と役割(あり方)の提案
- ③SDGsの推進における薬剤師の使命と役割(あり方)の提案

「SOJO基礎」でのチーム活動(PBL)①

1. 前期 *仲間づくり、所属意識、キャリアデザイン

■工学部、情報学部、生物生命学部のテーマ *「SOJO基礎 I」

「崇城大学HPの探究」

チームで崇城大学のHP(全体、所属学科)を調査し、他大学HPとの比較等にもとづいた受験生向けの改善案、新提案について、PowerPointで発表

■薬学科のテーマ *「SOJO基礎(薬学)」 前期のみ開講

1回目 「薬学科HPの探究」

チームで薬学科のHPを調査し、他大学の薬学科HPとの比較等にもとづいた受験生向けの改善案、新提案について、Power Pointで発表

2回目 下記レポート作成後に同テーマの学生同士でチーム編成

- ①AI時代の薬剤師の使命と役割(あり方)の提案
- ②パンデミックにおける薬剤師の使命と役割(あり方)の提案
- ③SDGsの推進における薬剤師の使命と役割(あり方)の提案

「SOJO基礎」でのチーム活動(PBL)②

2. 後期 *所属意識、キャリアデザイン

■工学部、情報学部、生物生命学部のテーマ *「SOJO基礎Ⅱ」

1回目 所属学科研究室の調査

2回目 企業提供課題の解決

企業等から提供されたと仮定した、学科に沿った内容の課題に対するアイデア的解決案をチームで考え、PowerPointを使用して発表

この討議は、基礎的な専門性を発揮して解決することを目的としたものではなく、現段階で有する知識・知見を生かしたアイデア的な手法による問題解決を目指す

全学科共通の課題 2021年度～

- ①コロナ禍における大学の授業について、授業のタイプ別に有効な運営のありかたを提案
- ②脱炭素社会を構築する施策について、環境問題や産業界などの事例を挙げて提案
- ③再生エネルギーの活用について、現時点での問題点を挙げて、その解決方法を提案
- ④食品ロスを解決する方法について、生産者や販売者などの事例を挙げて提案
- ⑤各学科の学生、もしくは複数学科の学生の参画による、新しい学生プロジェクトを提案

機械工学科の課題

- ①ドローンを使用したこれまでにないビジネスの提案
- ②災害時に役立つロボットの製作企画の提案
- ③倒れないオートバイの仕組みの提案
- ④事故を防ぐために、乗用車の改良すべき点の提案
- ⑤AI時代のエンジニアのありかたの提案
- ⑥EV車を普及するために解決すべき課題を挙げて、その解決方法をの提案

宇宙航空システム工学科の課題

- ①ドローンを使用したこれまでにないビジネスの提案
- ②ロケット産業界でこれまでにないビジネスの提案
- ③航空旅客機を使用したこれまでにないビジネスの提案
- ④熊本空港、または地方の小空港の利用客増加(あるいは活性化)を図る施策の提案
- ⑤パイロット不足を解消する施策の提案
- ⑥EV車を普及するために解決すべき課題を挙げて、その解決方法の提案

ナノサイエンス学科の課題

- ①理科、とくに「化学」好きのこどもを増やすための教育施策を小学生・中学生・高校生の段階別に提案
- ②中学生にナノテクノロジーを理解させるガイドブックの概要の提案
- ③ナノテクノロジーの素材・材料部門での製品開発や可能性の提案
- ④ナノテクノロジーのバイオ・医療部門での製品開発や可能性の提案
- ⑤ナノテクノロジーの環境・エネルギー部門での製品開発や可能性の提案
- ⑥ナノテクノロジーの問題点を挙げ、その解決方を提案

建築学科の課題(設計、パース等を用いてよい)

- ①自然災害時の「仮設住宅」の提案
- ②仮設住宅地域の「集会所」の提案
- ③熊本の自然を反映させた家づくりの提案
- ④特定の古民家を見つけ、その再生の提案
- ⑤特定の過疎地を見つけ、その再生の提案
- ⑥崇城大学の建物をすべて新築すると仮定して、建物群の配置の提案

情報学科の課題

- ①自然災害時に役立つアプリケーションの提案
- ②スマートフォンを使った高齢者向けビジネス企画の提案
- ③クラウド、IoTの特性を生かした、地方を活性させるビジネスの提案
- ④高齢化、独居老人、人口減少、空き家増加、農林水産業の高齢化、若者の地方からの流出など社会的な問題に対し、ITによる解決の糸口となるビジネスの提案
- ⑤農業や漁業分野へのAI活用の提案

生物生命学科の課題

- ①特定の野菜の品種を紹介し、その消費を勧めるHPの作成
- ②理科、とくに「生物」好きのこどもを増やすための教育施策を小学生・中学生・高校生の段階別に提案
- ③微生物を利用した食料増産施策、高機能性食品の提案
- ④環境問題解決のための微生物の利用方法の提案
- ⑤〇〇製薬の広報担当者として、全国の大学生を対象に弊社の事業内容の理解をひろめ、魅力的な企業だと感じてもらえる広報(PR)の具体策の提案
- ⑥特定の人工臓器の開発での課題(問題)解決の提案

3

2年・3年次のキャリア系科目

「キャリアプレコープ」 選択：全学部2年前後期 15/15コマ

企業名	学科	2023年度 前期 提供課題	コマ
同仁グローバル 計量証明 環境測定分析 科学分析	機械 建築 宇宙 情報	①地球温暖化、②エネルギー問題、③少子化、④国際競争力低下、 ⑤食料問題 ◆①～⑤から二つを選び、それら課題が科学分析会社の事業にどう影響するか、理由をあげて説明 ◆それに対応するために、皆さんが同仁グローバルの経営者だとして、何をするかを、その目的を説明	3
五木食品	応生 応微 美術 デザイン 薬学	①アベックラーメンの拡売方法 ②LL(Long Life)麺の拡売方法 ③夏物・冬物の新商品 ◆コンセプト、ニーズの確認、②ターゲット、③味、価格体系、調理方法、形態、デザイン、④カテゴリーは？ 新規性	3

「キャリアデザインⅠ」 必修：芸術学部3年前期 7/15コマ

企業名	対科	2023年度 提供課題	コマ
メイテック フィルダーズ	美術 デザイン	株式会社メイテックフィルダーズのイメージポスター制作	4

「キャリアデザインⅡ」 必修：芸術学部3年後期 7/15コマ

企業名	対科	2022年度 提供課題	コマ
オムロン リレーアンド デバイス	美術 デザイン	①スポーツチームに求められる社会連携活動とは？ ②チームマスコット「ピンディー」を22歳の大人に成長させるデザイン	4

「キャリアセミナー」

工学部、情報学部、生物生命学部

選択: 3年後期 6/15コマ

2022年度

企業名	学科	提供課題	コマ
タイハイテクノス	機械	機械式倉庫の開発について提案要件: 敷地面積3m×3m、容積100mm ³ 以上、すべて機械式で稼働、密閉性と自然災害に耐え得る構造 ・完成イメージ図(イラスト、3DCAD等は必須、・製作費用<概算額>)	2
銀杏開発	建築	エリア性、用途を踏まえて、以下の建物の活用方法を提案 1. 「TILE BLDGの活用」 ①リノベーション工事費、広告費などの予算、②現在の区分は「店舗」、用途変更すると設計費など含めたコスト発生、③建物全体で月60万円は必要 2. 「山鹿市長屋の活用」 ①リノベーション工事費、広告費などの予算、②山鹿の八千代座も近くにあり、趣のある建物が多い	2
メイテック フィルダーズ	宇宙	人々が快適に暮らせるための夢の製品(サービス)を、①観光、②買い物、③スポーツ観戦をテーマとして提案	2
オジック テクノロジーズ	ナノ	熊本が抱える諸問題を解決するための企業設立を提案	2
KIS	情報A	①良質なWeb会議の提案(現状のWeb会議の問題点の解決案) ②テレワークの改善提案(テレワークのメリットを高める、デメリットを解消する方法) ③これからの働き方の提案(技術やインフラの進歩による企業の在り方、仕事の変容)	2
九州ソフタス	情報B	企業や事業、サービスや商品、人やモノといったあらゆる資源を組み合わせる新しい価値創造の提案 例: 企業×企業、事業×事業、人×人、物×人、業界×IT	2
五木食品	応微A	弊社の冬・夏物の新商品を提案してください。	2
フドーダイ	応微B	①SDGs配慮型商品(原料、容器等)開発や事業展開(企業としての取り組み)についての提案 ②発酵技術を用いた新たな事業展開についての提案	2
日本リモナイト	応生	文献調査をおこない、その根拠にもとづいて、リモナイトの特徴を生かした商品の提案、生産コスト等の問題は考慮せず	3

「インターンシップⅠⅡ」 全学部 選択 集中 3年前後期

■ 1週間以上(実働5日間以上)のインターンシッププログラム

「インターンシップⅠ」 前期(4月～9月)

「インターンシップⅡ」 後期(10月～3月)

- ・学生が受け入れ先の企業や自治体を探し、その企業と本学が協定を締結
- ・就職課が大学コンソーシアム熊本の紹介する受け入れ先の企業や自治体紹介
- ・就職課が受け入れ企業を募集して本学との協定を締結し紹介

■ 事前授業2コマ、実習10コマ、事後授業3コマ

「キャリアプロジェクト」 全学部 選択 3年前後期

学生プロジェクト活動をととした工学教育の世界標準「CDIOイニシアチブ」の実践

Conceive 考え出す

Design 設計する

Implement 実行する、実装する

Operate 操作、運用する

■ 履修条件

- ① 大学が認定した特定の学生プロジェクト活動に、履修時の直前まで1年間以上活動中の3年生以上(2019年度入学以降カリキュラムの対象者)
- ② 学生プロジェクト担当教員による「学生プロジェクト所属証明書」
- ③ 認定する学生プロジェクトは、年間を通じて活動するプロジェクトに限定

■ 将来の卒業研究・修士研究に含み

学科ごとの「SOJOプロジェクト教育」と「専門科目群」

学科	SOJOプロジェクト教育の学修内容
機械	能動的に課題を発見・解決する能力を身に付けた実践型エンジニアを目指し、学生が主体的に課題に取り組む課題解決型授業である。
ナノ	専門共通科目で身に付ける専門知識や技術を活用して、先端研究活動と連動した課題解決型の学修活動を年次積み上げ式に取り組むことで「自ら考え」「自ら計画し」「自ら成し遂げる」ことが出来る学士力を身につける。
建築	建築学の専門的知識に基づく実践力を養うため、計画から設計までのプロセスを理解する。
システム	能動的に課題を発見・解決する能力を身に付けるため、学生が主体的に課題に取り組む。
デザイン	専門実習や地域のコンテンツを基軸にしたプロジェクト授業、卒業研究等を通して、世界に通用するデザインプロセスや技術を身につける教育を展開する。
情報	情報、電気、電子、通信および地域創生分野に関する課題発見・問題解決能力を身につける。
応微	1年から3年前期までの間に培った教養、専門知識と実験技術を応用・発展させることで、社会における課題発見、あるいはすでに顕在化している課題解決のためにチームで取り組む。
応生	専門科目の修得を通して得られた知識を使って自らで見つけた課題を解決してポスター発表などを行う。グループで活動し、能動的に課題解決する能力と実践力を身につける。

SOJOプロジェクト専門科目群						
	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期
機械	ロボット製作			コンピュータ 援用設計 機械図面と加工	機械設計製図 機械製作実習	
ナノ			先端化学実習Ⅰ	先端化学実習Ⅱ	先端科学実習Ⅲ	先端科学実習Ⅳ
建築					地域計画設計	
システム	航空宇宙工学 演習Ⅰ		航空宇宙工学 演習Ⅱ		航空宇宙工学 演習Ⅱ	
デザイン	デザインプロジェクトⅠ	デザインプロジェクトⅡ	デザインプロジェクトⅢ	デザインプロジェクトⅣ	デザインプロジェクトⅤ	デザインプロジェクトⅥ
情報			地域メディア 基礎 情報工学基礎 実験 電子情報基礎 実験Ⅰ	地域メディア 応用 情報工学処理 演習 電子情報基礎 実験Ⅱ	IoTエンジニアリング基礎 知能情報学実験	IoTエンジニアリング応用 知能情報システム設計 電子情報応用 実験
応微						バイオテクノロジー総論ⅠⅡ
応生					生命科学実践研究	生命科学実践演習

- 旧科目の演習・実験・実習をそのまま枠組みに入れたものが多い
- 基礎と専門との接続、専門と産業界との連携が可能な学科は少ない

4

企業の評価とこれからの課題

企業アンケート調査

《調査期間・調査方法》

2021年10月6日～27日、オンライン調査

《調査目的》

今後の教育改善の活動に反映させること

《調査対象》

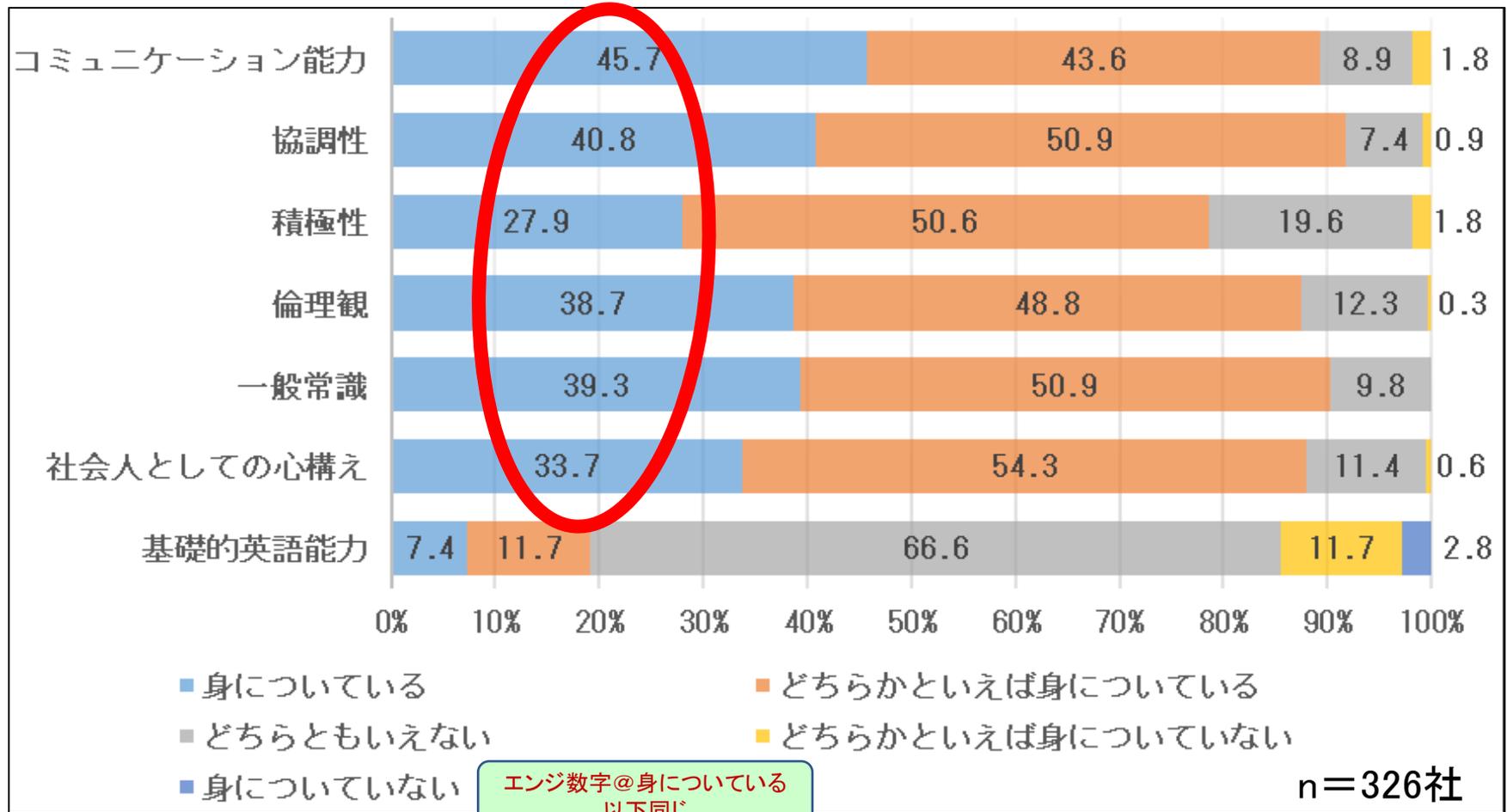
本学学生の採用実績のある企業、就職関係行事への参加実績のある企業で、キャリアタスCMS(Contents Management System)への登録企業624社 但し薬学部に関係する薬局等については対象外

有効回答384社、回答率61.5%

崇城大学HP→ 大学紹介→ 情報公開→ 教育研究活動等情報の公表→ 10その他→ 企業・卒業生アンケート調査→ 令和3年度企業アンケート調査
<https://www.sojo-u.ac.jp/about/docs/9509a44e4811bded402c9cd0d8bbd0a02b70795a.pdf>

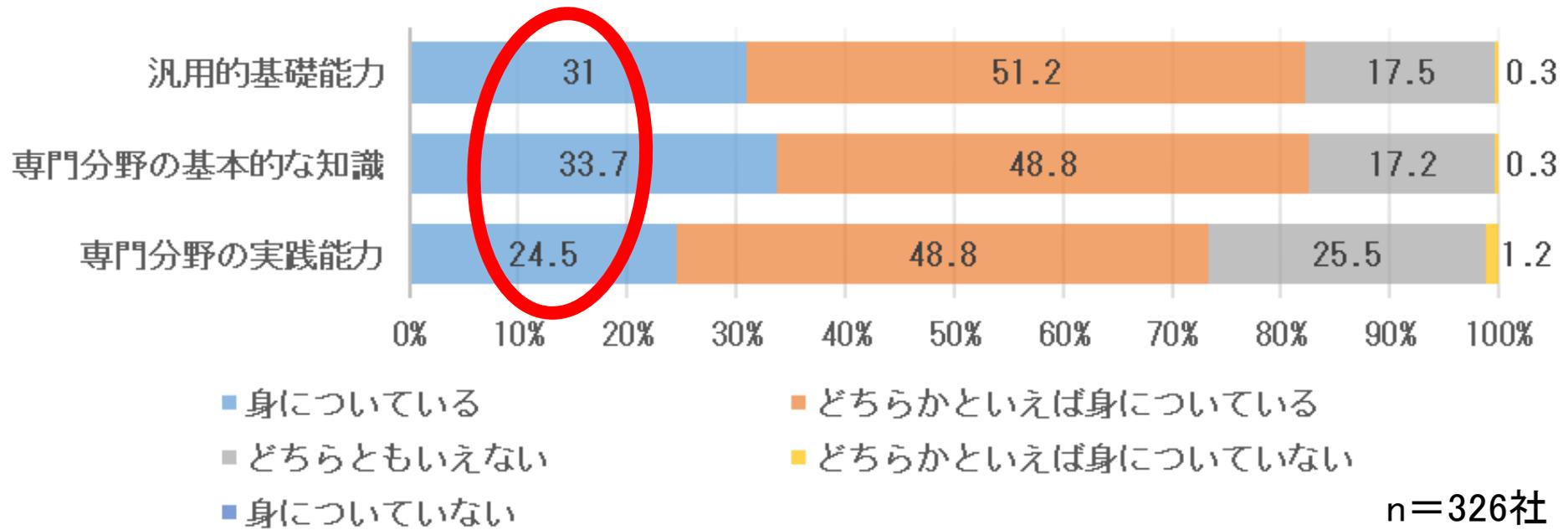
参考文献 藤本元啓 「企業へのアンケート調査結果からみた今後の崇城大学の教育のありかたについて」 『崇城大学紀要』48巻(2023年)
https://sojo-u.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=1685&item_no=1&page_id=13&block_id=21

本学DP①「社会人として相応しい豊かな人間性と倫理観を身につけたもの」の習得度



■ 協調性 (91.7→40.8) 一般常識 (90.2→39.3) コミュニケーション能力 (89.3→45.7) 社会人としての心構え (88.0→33.7) 倫理観 (87.5→38.7)
 ■ 積極性 (78.5→27.9) ■ 基礎的英語能力 (19.1→7.4)

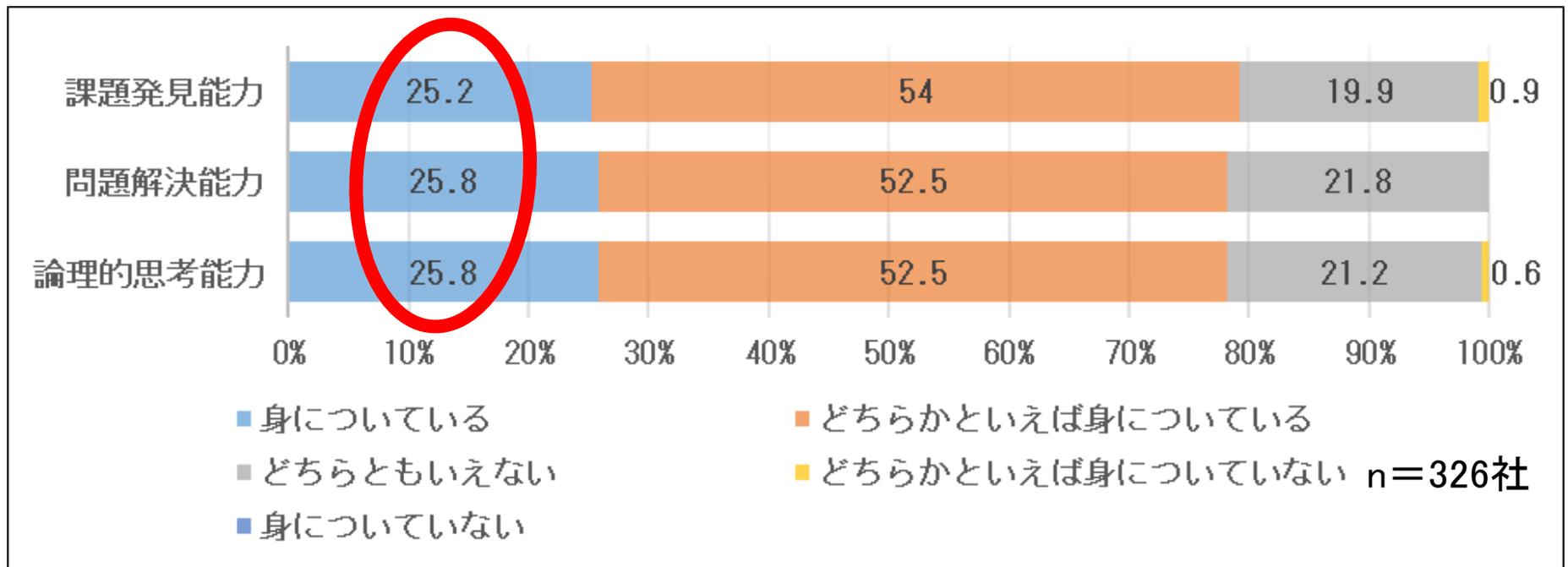
本学DP②「優れた応用力を有する専門家になるため、汎用的基礎力と基本的な専門知識を身につけたもの」の習得度



■ 汎用的基礎能力 (82.2→**31.0**) 専門分野の基本的な知識 (82.5→**33.7**)
 専門分野の実践能力 (73.3→**24.5**)

■ 「DP①: 社会人として相応しい豊かな人間性と倫理観等の習得度」の項目に比べて、相対的に低い数値

本学DP③「社会の多種多様な問題を解決するため、課題発見・問題解決能力を身につけたもの」の習得度



■ 課題発見能力 (79.2→25.2) 問題解決能力 (78.3→25.8)
論理的思考能力 (78.3→25.8)

■ 「DP①: 社会人として相応しい豊かな人間性と倫理観等の習得度」と「DP②: 優れた応用力を有する専門家になるための汎用的基礎力と基本的な専門知識等の習得度」と比べて、相対的に最も低い数値

参考 令和3年度 全国学生調査(第2回試行)結果

文部科学省HP https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/chousa/1421136.htm 崇城大学集計分(文部科学省提供)

区分	対象大学数	対象学部数	対象学生数	有効回答者数	有効回答率	崇城大学	201名
全体	582大学	2,117学部	949,482人	112,341人	11.8%		

専門分野に関する知識・理解

区分	身に付いた		ある程度身に付いた		あまり身に付いていない		身に付いていない		平均値
全体	32,023	28.5%	64,479	57.4%	13,332	11.9%	2,507	2.2%	3.1
崇城大学	54	26.9%	125	62.2%	18	9.0%	4	2.0%	3.1

★将来の仕事につながるような知識・技能

区分	身に付いた		ある程度身に付いた		あまり身に付いていない		身に付いていない		平均値
全体	30,307	27.0%	55,374	49.3%	21,647	19.3%	5,013	4.5%	3.0
崇城大学	57	28.4%	105	52.2%	31	15.4%	8	4.0%	3.1

問題を見つけて解決方法を考える力 (問題発見解決)

区分	身に付いた		ある程度身に付いた		あまり身に付いていない		身に付いていない		平均値
全体	21,677	19.3%	64,903	57.8%	21,207	18.9%	4,554	4.1%	2.9
崇城大学	38	19.9%	122	60.7%	30	14.9%	5	2.5%	2.9

答えのない問題を自分の頭で考え抜く力 (問題解決)

区分	身に付いた		ある程度身に付いた		あまり身に付いていない		身に付いていない		平均値
全体	22,366	19.9%	61,518	54.8%	23,344	20.8%	5,113	4.6%	2.9
崇城大学	31	15.4%	118	58.7%	42	20.9%	10	5.0%	2.9

多様な人々の理解を得ながら協働する力

区分	身に付いた		ある程度身に付いた		あまり身に付いていない		身に付いていない		平均値
全体	29,137	25.9%	58,231	51.8%	18,959	16.9%	6,014	5.4%	3.0
崇城大学	43	21.4%	112	55.7%	39	19.4%	7	3.5%	3.0

小結

「汎用的基礎能力」「専門分野の基本的な知識」の達成度・習得度について、「身についている」と評価した企業数は全体の1／3

「専門分野の実践能力」「課題発見能力」「問題解決能力」「論理的思考能力」の達成度・習得度について「身についている」と評価した企業数は全体の1／4

■ 全国学生調査のデータは企業アンケートとほぼ同じ

■ 企業評価より低い項目は問題発見・解決能力

企業からの本学教育への要望

実施を望む教育内容

- 受け身の授業ではなく、他者の意見をよく聴き、自分の意見を積極的に発言する授業（コミュニケーション能力）、人前で発表することに慣れるカリキュラム
- 実践的な業務経験（現場実習や実地訓練等）を学べる授業、大学と産業界との接続教育
- 課題を解決する能力を高める教育（課題解決プロジェクト、大学と企業とが連携して行う実習など）、グループワークなど、人と関わりあいながら一つのものをつくりあげる実習
- 学んだ知識と仕事とのギャップを埋める教育
- IT、AI などの技術
- 組織論や企業論などの経済、経営系の授業
- コンプライアンス全般に関わる教育、労働法の基礎
- 「報連相」の徹底とあいさつ

企業からの本学学生への要望

在学中に身につけるべき能力等

- 「教えられていないのでできません」ではなく、自らが考え行動する人間力、主体性をもった学び、積極性、向上心
- 社会との接点や実践的な経験
- 失敗や挫折を乗り越えるへこたれないタフさ、失敗や間違いを恐れない行動力、注意やアドバイスに対しての耐性
- 他者(同級生以外)とのコミュニケーション能力、説明能力、対人折衝力、マナー
- インターンシップ
- 汎用的基礎力の上に立った専門的基礎知識
- 基礎的なICTの知識と技術
- 課題に対しての実行力、解決力

学生さんへの最近のアドバイス

学生の誤解 専門知識、能力、技術よりもコミュニケーション能力が重要

報告者(藤本)の回答 あなたの専門性を企業で発揮するためにコミュニケーション能力が必要であり、そのためには基礎的な専門の知識・能力・技術・活用方法等を身につけていることが前提

■教職員はこれを正しく学生に伝えたくて、「問題解決能力」「課題発見能力」「専門分野の基本的な知識」「専門分野の実践能力」等の育成教育を推進

大学生活で特に力を入れたこと(自己PRシート、エントリーシート、面接)

1. 学業、研究など正課活動 @志望就職先との関連性を明確に
2. クラブ、サークル、プロジェクトなど課外活動
3. アルバイト、ボランティア

左記3項目を複数作成

インターンシップ型採用 (企業の目論見? 実技試験?)

1. 採用プロセスに位置づけられたインターンシップ
 2. コミュニケーション能力、基礎的な専門知識・技術等の確認・見極め
- 「SOJOプロジェクト教育」の重要性

おわりにかえて

- 基礎的・専門的知識と汎用的能力・専門的能力とを習得し、個人やチームで「解のない問題」に取り組み、最適解を導く授業を展開すること
- 実習、体験活動、企業との協働教育によって、それらの知識や能力を実際に使う質の高い効果的な教育を反復し、技術や技能を道具として使う機会を設けること
- 社会に貢献し継続的な学習と人生設計とを行える人材を育成すること

巨視的には、これらがユニバーサル化した大学教育の本質であり、
換言すれば、124単位すべてが広義のキャリア教育

基礎と専門の接続、大学と産業界との教育連携が困難ならば
まずは科目と職業との関係を意識させるために
授業1回につき1～2分間でもよいので
マイクロインサクションの手法を導入できないか

ご清聴ありがとうございました

mfujimoto@ed.sojo-u.ac.jp